

ツキノワグマ人身事故防止対策

～自然公園の施設・キャンプ場管理者のみなさんへ～

自然豊かな上高地を含む山岳地はクマの生息地です！
クマが人の食べ物に餌付くと、人身事故の原因になります



クマは餌付くと行動が激変！

クマは一度でも人の食べ物やゴミに餌付くと、繰り返し出没します。生ゴミやグリストラップにも執着します。人の食料がきっかけで危険なクマへと変化するので。

クマによる人身事故を防ぐためには、「クマを絶対に餌付かせない」という意識をもち、食料・ゴミ・グリストラップをしっかりと管理する必要があります。

● 体毛が語るクマの行動変化

捕獲されたクマの体毛に含まれる元素分析により、人の食料に餌付いたクマかどうかを知ることができます。2020年8月上旬に人身事故を起こして捕獲されたクマは、前年から捕獲年7月までは自然の食べ物食べていました。ところが、7月末から8月に入るとグラフの値がいきなり高くなっているのは、人の食料に急激に餌付いてしまったことを示しています。

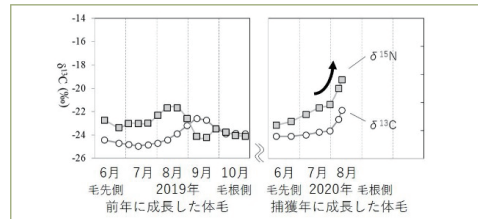


図. 2020年8月に上高地で捕獲されたツキノワグマ体毛の炭素・窒素安定同位体比（中下はか2021より引用）



*上高地エリアはどこでもクマが出没する可能性があるため、すべての施設のご協力が必要です
*個体の目撃情報や餌付き個体の発生情報など、周囲の施設との情報共有体制を密に行いましょう

1 食料の管理

- キャンプ場では食料保管庫を設置し、テント内には食料を置かない（食料保管庫がない場合は、食料をビニール袋などに密閉してテント内に保管）
- 食料保管庫は必ず施錠する
- 冷凍庫など屋外に食料を保管しない（やむを得ない場合は常時施錠する）



アラスカ-カトマイ自然公園
キャンプ場食料保管庫の例



屋外の冷凍庫は
クマに荒らされる危険性が高い

2 ゴミの管理

- ゴミ保管庫は必ず施錠する
- 生ゴミは短時間であっても絶対に屋外に置かない
保管庫内でも、コンテナに入れるなどして臭い対策をする
- 缶、瓶などのゴミ箱も倉庫や室内で保管する



鍵付きのしっかりした
生ゴミの保管庫



空き缶やペットボトル類を
屋外に置くとクマに荒らされる
危険性が高い

3 グリストラップの管理

- 重い蓋でもクマは簡単に開けることができるので、ボルトなどでしっかりと固定する



クマはグリストラップの
油に誘引され蓋を開ける



グリストラップの蓋は
ボルトなどでしっかりと固定

4 やぶの刈り払い

- テントサイトや遊歩道周辺はやぶを刈り払って見通しをよくする



遊歩道に沿って刈り払った
笹やぶ



刈り払っていない笹やぶ

【注意】施設の改築やササの刈り払いなどは手続きを要する可能性がありますので、事前にご相談ください。